

JAMトピックス

2020 ミャンマー農業支援

JAMの援助で新しい農機が導入



新しく導入されたヤンマー製耕うん機。歩行式なのでトラクターで作業できないような狭い土地を耕すのに適している

JAMが井関農機労働組合、ヤンマーグループ労働組合連合会などと協力して支援しているミャンマーのモデル^{たんぼ}田圃に、新しい農機が導入された。導入は、前年度末の連合「愛のカンパ」とJAM、ヤンマーグループ労働組合連合会、ヤンマーアグリビジネス株式会社の協力で実現。

今回導入された農機はヤンマー製の耕うん機、管理機で、土壌改良や畝^{うねた}立て、除草などに活用される予定。昨年は井関農機製のトラクターが配備され、広い農地での土壌改良、農地の^{しんこう}深耕に役立っている。

JAMは2013年からミャンマーの農業、労働組合活動を支援している。2018年10月には、トラクター購入資金援助(クボタ労使合同出資)に対し、特定非営利活動法人アジア社会文化交流センターから感謝状を受けた。



今回導入されたヤンマー製管理機。すでに配備されているトラクターの補助として除草作業などに使用される予定



昨年配備された井関農機製トラクター。広い農地を短い時間で耕すのに活躍している